



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,264	△5.5	975	25.3	994	24.9	676	30.2
2020年3月期第3四半期	10,856	1.5	778	24.9	796	24.4	519	19.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 676百万円(30.5%) 2020年3月期第3四半期 518百万円(22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	82.87	—
2020年3月期第3四半期	63.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,379	6,568	57.7
2020年3月期	10,448	6,032	57.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,568百万円 2020年3月期 6,032百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,854	△3.2	1,036	11.7	1,057	11.2	717	16.8	87.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	8,345,370株	2020年3月期	8,345,370株
2021年3月期3Q	166,496株	2020年3月期	203,991株
2021年3月期3Q	8,163,690株	2020年3月期3Q	8,175,656株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により厳しい状況が続く中、緊急事態宣言解除後は段階的に経済活動が再開され持ち直しの動きが見られたものの、感染の再拡大により先行き不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請や休業要請、営業時間の短縮等により外食等の需要が減少する一方で、中食・内食の需要が増加する等、食に対する需要が大きく変化しました。また、鶏卵業界では国内で鳥インフルエンザの発生が相次いでおり、鶏卵の需給動向の先行きが懸念されます。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比5.5%減の10,264百万円となりました。

損益につきましては、連結営業利益は同25.3%増の975百万円（3期連続増益）、連結経常利益は同24.9%増の994百万円（3期連続増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同30.2%増の676百万円（5期連続増益）となり、いずれも第3四半期連結累計期間における最高益を前期に引き続き更新しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多くあります。鶏卵相場が高く推移した場合は、製品販売単価及び原料仕入単価はともに高く推移する傾向にあり、鶏卵相場が低く推移した場合は、製品販売単価及び原料仕入単価はともに低く推移する傾向にあります。そのため、製品販売単価と原料仕入単価の差益の一定額以上の確保と販売数量の確保により利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける販売数量につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、土産菓子向け・外食向け等の需要が落ち込みました。その落ち込みをカバーするため、新規取引先の獲得に努め、また外出自粛や休業要請等に伴う「巣ごもり消費」としての冷凍食品等の内食向けが増加した結果、前年同期比0.9%減に留まりました。なお、新規取引先へのアプローチや新たな需要の掘り起こし等の営業施策により販売数量は回復してきており、第2四半期累計期間の3.3%減から減少幅が縮小しております。

売上高につきましては、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比で8.2%（14.8円）低下したことに伴い連動する販売単価も低下した影響が大きく、液卵売上高は前年同期比6.4%減の8,641百万円となりました。また、加工品売上高も需要減により同12.4%減の362百万円となりました。その他売上高は、鶏卵直送販売が増加したこと等により同8.0%増の396百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の当セグメント合計の売上高は同6.1%減の9,400百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売数量回復のための新規取引先の獲得及び既存取引先の新たな需要の開拓、鶏卵相場の低下に伴う原料仕入単価の低下及び購買施策の多様化による材料費の低減、工場の生産効率の向上や歩留まりの向上による製造コストの削減等、業績を向上させるべく様々な施策を講じた結果、前年同期比23.7%増の936百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、インスタントラーメン等の「巣ごもり消費」向けの販売が増加したこと等により、前年同期比1.9%増の881百万円となりました。

セグメント利益につきましては、売上高の増加やテレワークの拡大に伴う出張旅費等の販売費及び一般管理費の減少により前年同期比156.0%増の27百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比1.0%増の20百万円となり、セグメント利益は同10.5%増の12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は11,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ930百万円増加しました。

流動資産は6,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,002百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加608百万円、現金及び預金の増加265百万円、商品及び製品の増加80百万円等によるものであります。

固定資産は4,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少39百万円、機械装置及び運搬具の減少41百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ395百万円増加しました。

流動負債は2,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ497百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加263百万円、支払手形及び買掛金の増加251百万円等によるものであります。

固定負債は1,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少105百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は6,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益676百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想につきましては、業績は概ね順調に推移しており、2020年11月10日の「通期業績予想及び期末配当予想に関するお知らせ」で公表した業績予想に対して損益項目の進捗率が高くなっております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国内での鳥インフルエンザの発生が当社グループの業績に影響を与える可能性も考えられますので、現時点においては通期の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の業績推移等により業績予想に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,464	2,730
受取手形及び売掛金	1,970	2,578
商品及び製品	728	808
仕掛品	34	52
原材料及び貯蔵品	235	234
その他	21	53
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	5,450	6,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,857	1,817
機械装置及び運搬具(純額)	1,004	963
土地	1,915	1,915
その他(純額)	55	47
有形固定資産合計	4,832	4,744
無形固定資産		
投資その他の資産	6	5
投資有価証券	142	146
繰延税金資産	3	—
その他	14	34
貸倒引当金	△2	△4
投資その他の資産合計	158	175
固定資産合計	4,997	4,925
資産合計	10,448	11,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	619	870
短期借入金	898	1,162
未払法人税等	201	186
未払消費税等	22	19
賞与引当金	69	38
その他	577	608
流動負債合計	2,388	2,886
固定負債		
長期借入金	1,402	1,296
長期未払金	562	562
繰延税金負債	35	38
その他	26	26
固定負債合計	2,027	1,924
負債合計	4,415	4,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	372
利益剰余金	5,295	5,800
自己株式	△131	△107
株主資本合計	5,986	6,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	46
その他の包括利益累計額合計	46	46
純資産合計	6,032	6,568
負債純資産合計	10,448	11,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,856	10,264
売上原価	8,617	7,757
売上総利益	2,238	2,507
販売費及び一般管理費	1,460	1,531
営業利益	778	975
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	18	18
その他	6	6
営業外収益合計	26	26
営業外費用		
支払利息	8	7
その他	0	0
営業外費用合計	8	7
経常利益	796	994
特別利益		
補助金収入	0	—
受取保険金	15	12
特別利益合計	15	12
特別損失		
固定資産除売却損	14	0
災害による損失	23	—
特別損失合計	37	0
税金等調整前四半期純利益	774	1,007
法人税、住民税及び事業税	265	324
法人税等調整額	△9	6
法人税等合計	255	330
四半期純利益	519	676
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	519	676

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	519	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	518	676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	518	676
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結結果計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,011	825	10,837	19	10,856
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	40	40	—	40
計	10,011	865	10,877	19	10,896
セグメント利益	756	10	767	11	778

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	767
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	778

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,400	844	10,244	20	10,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37	37	—	37
計	9,400	881	10,281	20	10,301
セグメント利益	936	27	963	12	975

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	963
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業利益	975

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。